

中高科へのヒント 4~6月

4/1

●話し合ってみよう

・主イエス様の最期はどんな最期でしたか。→十字架の死。暗唱聖句。

●考えてみよう。

・主イエス様はロバの子に乗って、エルサレムに入城されました。その姿からどんなことがわかりますか。

→ 柔和な平和の救い主として、私たちの所に来られたお方。それは私たちを罪から救うために。

・「一粒の麦」は誰を表していますか。→ 主イエス様ご自身。

・「豊かな実」とは誰を表していますか。→ 主イエス様を信じ救われた私たち。

・「一粒の麦」と「豊かな実」は、どんな関係にありますか。→ 一粒の麦の生命の犠牲によって、新しい命が生まれたこと。

●自分に当てはめよう

・主イエス様の苦難の意味を心に留めながら過ごしましょう。主イエス様の最後の一週間を精読してみましょう（マタイ21章～、マルコ11章～、ルカ19：28～、ヨハネ12：12～）。受難週の祈祷会などにも出席してみましょう。

・「私」の罪のために主イエス様が十字架にかかってくださったことを再確認しましょう。まだ信じていなかった人は、今日、主イエス様の十字架がわたしの罪のためであったことを信じ、罪を悔い改めて、祈りましょう。

4/8

●話し合ってみよう

・今日は、イースター（復活日）です。主イエス様の復活を信じる人と、信じない人の違いは何ですか。

→ 死を恐れるか、死を超える希望を持っているかの違い。

●考えてみよう。

・世の人は復活を否定します。もし、復活がないならば、人はどうなってしまいますか。→ 13～19節（聖書講解、研究資料参照）。結論は「最もあわれむべき存在」(19)。

・主イエス様の復活は、事実ですか、作り話ですか。→ 事実です（20）。

・主イエス様の復活は、主イエス様お一人の復活ですか。→ 主イエス様だけではなく、主イエス様を信じる私たちは、世の終わりの主イエス様の再臨の時に、主イエス様と同じ栄光の体で復活します。それが私たちの希望です。

●自分に当てはめよう

・あなたは死を超える復活の希望を持っていますか。死を怖がる人は、いつも消極的な面ばかりみて、自分の弱さを嘆くだけの人生をおくるようになります。

・しかし、復活された生ける主イエス様を信じる信仰を持つと、死を恐れないでどんな時にも勇気を持って、弱くとも主イエス様に支えられて力強く生きていく人生を送ることができます。

4/15

●話し合ってみよう

・「親しい人との別れ」はつらいものです。経験したことはありますか。→ 各自の証。^{あかし}

・唯一、永遠にお別れしないお方がいます。→ 主イエス様。

●考えてみよう

・復活された主イエス様は、何をされましたか。→ 40日間、弟子たちに、ご自分が復活され、生きておられることを示された。

・主イエス様は、いつまでもこの地上におられましたか。→ いいえ、弟子たちの見ている前で、昇天されました。本日の聖書箇所。

・弟子たちは主イエス様とお別れするのは寂しくなかったですか。→ いいえ、本日の暗唱聖句。主イエス様はいつも共におられます。

・主イエス様は弟子たちに何を命じましたか。→ 出て行って、福音を伝え、バプテスマを施し、弟子をつくること。

・そんな大きなことを、私たちはできるのでしょうか。→ 自分の力ではできませんが、いっさいの権威を持っておられる生ける主イエス様によってできます。

●自分に当てはめよう

・悲しい時、苦しい時、つらい時、どんな時でも、主イエス様が共におられます。

・伝道は、主イエス様の権威によってすることができます。主イエス様を信じて伝道しましょう。

4/22

●話し合ってみよう

- ・あなたにとって「最も大事なこと」は何ですか。→ 各自の証。^{あかし}
- ・聖書で「最も大事なこと」(3)は何ですか。→ 主イエス様の十字架と復活の福音(3～4)。あなたにとっても最も大事なことです。
- ・最も大事なことは、何度も再確認をするものです(1～2)。それでは確認しましょう。

●考えてみよう

- ・「わたし自身も受けたこと」(3)とは? → パウロ自身が体験したこと。
- ・「聖書に書かれてあるとおり」(3)とは? → 旧約聖書に預言されていること。
- ・「わたしたちの罪のために死んだこと、…次に十二人に現れたこと」(4～5)とは → 主イエス様の十字架の死、埋葬、復活、顕現。
- ・「最も大事なこと」を信じた人はどのようにになりますか。→ 主イエス様と教会の迫害者であったパウロでも、全く生まれ変わり、主イエス様を伝える者になりました。私たちも全く造り変えられ、神様のお役に立つ者になります。

●自分に当てはめよう

- ・神様のお役にたつために、自分でがんばらなければなりません。→ いいえ、「神の恵み」によってできます。自分の力ではなく、神様に支えられ、強められて、励むことができます。

4/29

●話し合ってみよう

- ・主イエス様の復活を信じた人は、死を恐れないことを確認しました(4/8)。具体的にはどんなことですか。→ 本日の学び。

●考えてみよう

- ・「肉と血とは神の国を継ぐことはできないし、朽ちるものは朽ちないものを継ぐことはない」(50)とはどんな意味ですか。→ 罪を犯して汚れた体や、弱り老化する体で、永遠の神の国に入ることはできないこと。
- ・それでは、永遠の神の国に入ることはできないのですか。→ いいえ、主イエス様の再臨の時、死から復活して、永遠の体、栄光の体に一瞬にして変えられて、永遠の神の国に入ることができるのです(暗唱聖句)。
- ・永遠の神の国に入る希望に生きる人は、どんな生涯を送ることができますか。→ 第一に、罪に対する勝利の生活を送ることができます(56)。永遠の神の国に入るゴールを目標とする人は、罪の誘惑で人生の目標を見失うことはありません。第二には、どんな苦しみにも耐えることができる本当の忍耐力を持つことができます(58)。この世の労苦は神様がご存じで、神様が無駄な苦しみにあわせられないことを信じることができます。

●自分に当てはめよう

- ・復活の希望を確認し、信仰生活を全うしよう。

5/6

●話し合ってみよう

- ・「昇天」という言葉を知っていますか。→ 国語辞典では「天にのぼること。死んで魂が天にのぼること」と書いてありますが、ここでは、主イエス様の復活後の「昇天」のことです。

●考えてみよう

- ・本日の聖書箇所と、使徒行伝1・1～11を読んで、主イエス様の昇天の意義を考えてみましょう。
- ・主イエス様は何のために手を上げましたか(50)。→ 弟子たちを祝福するため。主イエス様は昇天後も、私たちのためにとりなしてくださっています(聖書講解参照)。
- ・使徒行伝では、主イエス様は二つの約束をされました。それは何ですか。→ 「聖霊によって、バプテスマを授けられる」(使徒1・5) ことと、「またおいでになる」(使徒1・11) ことです(聖書講解参照)。
- ・主イエス様とのお別れはさびしいはずなのに、「非常な喜び」と「神をほめたたえ」ることができたのはなぜですか(51、52)。→ 主イエス様のとりなしと、約束の聖霊が与えられ、主イエス様の再臨の希望を持つことができたから。

●自分に当てはめよう

- ・私たちも肉眼の目でイエス様を見ることはできませんが、弟子たちと同じように、昇天の恵みを知り、希望を持って生きましょう。

5/13

●話し合ってみよう

- ・今日は母の日です。広く考えるならば、家族のことを考える日です。家族にとって最も大切なことは何でしょうか。→ 仲良くすること、楽しい時間を過ごすこともよい事ですが、最も大切なことは「祈る」ことです。

●考えてみよう

- ・ハンナはどんな事を泣いて熱心に祈り求めたのですか(暗唱聖句)。→ 子どもが与えられるように。
- ・それでは、子どもが与えられたら、どのように育てようとしたのですか。→ 子どもを可愛がり、楽しく過ごすためではなく、子どもを神様にささげて、神様に仕えさせるために。
- ・ハンナは、祭司エリに誤解されてしまいました(14)。その後どうしましたか。→ 誤解がとけ(17)、ハンナは祈りが聞かれるという確信を持ちました(18)。
- ・与えられた子ども「サムエル」はどうなるでしょうか。→ 偉大な預言者となります。ハンナの祈りは成就しました。

●自分に当てはめよう

- ・お母さんの祈りによって育てられたことを、感謝しましょう。お母さんと一緒に祈りましょう。
- ・お母さんや家族が、まだ信仰を持っていない人は、お母さんや家族のために祈りましょう。
- ・ハンナのように、熱心な祈りは必ず、神様が聞いてくださいます。祈り続けましょう。

5/20

●話し合ってみよう

- ・「中途半端」と言われたことはありますか。→ 勉強のこと、仕事のことなど。
- ・「中途半端」はよい事ですか。→ いいえ。
- ・それでは、信仰の中途半端はあるのでしょうか。→ あります（本日の聖書箇所）。

●考えてみよう

- ・本日は3種類の人が書かれています。これは、男女、人種、年齢の違いではなく、信仰のことです。分けてみてください。→ ①「生まれながらの人」(2・14) ②「霊の人」(2・15) ③「肉の人」(3・1、3)(説明は聖書講解、研究資料を参照)。
- ・あなたはこの三種類のどれだと思いますか。→ 主イエスをまだ信じていない人は①、信じていても、「中途半端」な人は③、「キリストの思い」を持ち、聖霊の恵みに生きている人は②です。
- ・中途半端な人の特徴は何ですか。→ 聖書の理解力が足りない(2)。妬みや争いがある(3)。
- ・主イエスを信じている人は、③「中途半端のままでよい」としないで、②「霊の人」となるように、祈り求めましょう。

●自分に当てはめよう

- ・信仰の「中途半端」はいいことではありません。肉の人をキリストと共に十字架につけ、聖霊に満たされましょう(ガラテヤ5・24、25)。

5/27

●話し合ってみよう

- ・今日は聖霊降臨日(ペンテコステ)です。約束の聖霊が注がれた日(使徒2・1～4)です。先週学んだ「肉の人」から「霊の人」になることができます。

●考えてみよう

- ・聖霊が注がれる秘訣は何ですか。→ 主イエスを愛することです。愛するとは主イエスを第一にすることです。主イエスのいましめを守ることです。神の言葉を守っていないことがあれば、心から悔い改めることです。守るとは、イヤイヤするのではなく、喜んですることです(16)。
- ・「別に助け主を送って」(16)の別にとは誰と別ですか。→ 主イエスは今、天において私たちのためにとりなしておられます。そして主イエスの代わりに、聖霊が私たちに与えられました。
- ・「助け主」とはどういう意味ですか。→ 慰め主、教師、弁護士…(研究資料参照)。
- ・真理の御霊は、信じる者に、何を教えてくださいますか。→ 生ける主イエスのこと。

●自分に当てはめよう

- ・今日、こんなにすばらしい聖霊を知ることができました。主イエスを心から愛し、罪を徹底的に悔い改め、主イエス様にお従いし、神様が聖霊を豊かに注いでくださることを信じましょう。

6/3

●話し合ってみよう

- ・信仰が「中途半端」のままであれば、どんな生活になってしまいますか。→ 「肉の働き」(19～21)。
- ・「肉の働き」が出てきても平気ですか。→ 何とかしたい。解決は御霊の実を結ぶことです。

●考えてみよう。

- ・「肉の働き」が出てこない生き方をするためにはどうすればよいでしょうか。→ 「御霊によって歩む」こと(16)。二股をかけて生きることはできません(17～18)。
- ・御霊の実とは、どんな実ですか。→ 9つの実(22～23)(研究資料参照)。
- ・このすばらしい御霊の実は自分の努力で結ぶことができますか。→ いいえ、聖霊に満たされて、主イエス様につながり続けていなければ結ぶことはできません。
- ・御霊の実を結ぶ秘訣は何ですか。→ 「自分の肉を、その情と欲と共に十字架につけてしまった」(24)ことを信じることです。それは自我の醜さや汚れを認め、自己に絶望し、主イエス様と共に十字架で死に、聖霊を心の内に満たしていただくことです。

●自分に当てはめよう

- ・御霊の実を結ぶことができるように、求め、祈り、信じ、従いましょう。牧師先生、教会学校の先生とも一緒に祈りましょう。

6/10

●話し合ってみよう

- ・自分は小さく弱く、何もできないと思ったことはありますか。→ ある
- ・それでは、神様の働きは何もできないでしょうか。→ いいえ、神様は小さな者や小さな事を用いられます。

●考えてみよう。

- ・群衆が空腹になった時、主イエス様は弟子たちに解決の方法を質問したのは、なぜでしょうか。→ 主イエス様を信じ、神の奇跡を経験できるように。私たちも困った時に、主イエス様を信頼しよう。
- ・「大麦のパン五つとさかな二匹」が「何になりましょう」(9)と悲観的です。どうしてでしょうか。→ 少ししかないのに、あっても無意味と思ったから。目の前の現実しか見えていない。
- ・主イエス様はこの悲観的な答えに、どうされましたか。→ パンもさかなも、感謝してから、すわっている人々に分け与えられました(11)。
- ・主イエス様の奇跡を起こすきっかけとなったことは何ですか。→ 少年がわずかなパンとさかなを提供したこと。

●自分に当てはめよう

- ・小さい者、小さい事を、主イエス様は用いて、信じられないような大きな働きをされます。私たちも期待し、信じ、自分自身や小さな事で主にお獻げして用いていただきましょう。

6/17

●話し合ってみよう

- ・今日は父の日です。自分自身や家庭にはいろいろな苦難や試練があります。その時、必要なことは何ですか。→ それは、どんな時でも、動揺しない「信仰」です。ヨブから学びましょう。

●考えてみよう

- ・神様を信じて生活していれば、苦難や試練にあわないでしょうか。→ いいえ。ヨブは神を信じ、神を恐れる人でしたが、試練に遭いました(1)。
- ・サタンは、試練によって何をしようとしていますか。→ 神様への信仰を失わせようとしています。神様ご自身を信じる信仰ではなく、自分の都合や御利益があるから信じる信仰であれば、サタンの思うつぼで、信仰を失ってしまいます。
- ・ヨブは、サタンからの試練の時、どうしましたか。→ 「神のみ名はほむべきかな」と、神様を信じ続けました(21)。神様は「与え」るだけでなく、「取られ」ることもあります。その両方を受け入れることが信仰です。

●自分に当てはめよう

- ・自分や家庭が、苦難や試練にあった時には、ヨブのような信仰を持ちましょう。
- ・自分では耐えられない時には、教会の先生や、友人に、祈り励ましてもらいましょう。
- ・ヨブも試練を乗り越え、神様の祝福を経験しました(ヨブ42章)。私たちも同じです。

6/24

●話し合ってみよう

- ・自分の顔に自信がありますか。→ 各自の答え。
- ・美人でなくても、ハンサムでなくても、その人の生き方が顔に表れるようです。「輝いた顔」になりたいですね。

●考えてみよう

- ・ステパノは、どうして教会の皆から信頼されたのでしょうか。→ 人々の苦情や問題を「御霊と知恵に満ち」(3)て、解決できるような人だから。「信仰と聖霊に満ちた人」(5)だから。これは頭が良いからではなく、聖霊による知恵です。
- ・ステパノは人々からの仕返しや脅しがあった時に、弱腰になって逃げてしまいましたか。→ 「恵みと力とに満ちて」、民衆の中で、大胆に語り、奇跡を行いました(8)。この勇気も人間の力ではなく、聖霊による力です(9)。
- ・議会で迫害された時に、びくびく怯えていましたか。→ いいえ。「天使の顔のように」(15)輝いてみえました。

●自分に当てはめよう

- ・私たちも、教会、家庭、学校で、ステパノのように、信頼される人になりたいものです。聖霊の知恵を与えていただきましょう。
- ・困難や迫害にあった時でも、ステパノのように聖霊の知恵の力をいただいて、勇気を出すことができます。私たちも、ステパノのような輝く顔を持つことができます。